



涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる。(詩編126編5節)
Those who sow with tears will reap with songs of joy. (Psalm 126:5)



主に遣わされて

イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」



ーヨハネによる福音書20章21節ー
九州学院チャプレン 日笠山 吉之

4月から九州学院のチャプレンに就任した日笠山吉之と申します。ルーテル教会の牧師として、北は北海道から南は九州まで幾つかの教会に遣わされてきましたが、よもや九州学院に招かれるとは思っていませんでした。私にとってはまさに青天の霹靂でしたが、キリストが遣わされたのだと信じ、新入生たちと一緒に九州学院の門をくぐりました。

十字架の死から復活されたキリストが、弟子たちの前に最初に現れてかけた言葉は、「あなたがたに平和があるように」でした。キリストを裏切ってしまったという良心の呵責に苛まれつつ、いつまた自分たちも捕らえられてしまうのでは？という不安や恐れのためだけに平和を祈られたのです。どんなにか弟子たちは安心し、救われたことでしょう。

それだけでは終わりません。キリストは、再び彼らを弟子として任用し、遣わされるのです。私たちもそうです。キリストによって赦され、愛され、そして遣わされていく。九州学院に集う私たちも、みなキリストによって招かれ、愛されて、それぞれの場に遣わされていくのです。

2023 中高入学式・対面式 高校349人・中学校110人が入学 ～対面式は4年ぶりに総合体育館で実施～



(中高合同対面式[3年3か月ぶりに中高全クラスが総合体育館に集う])

4月11日(火)、九州学院総合体育館において2023年度九州学院高等学校・中学校入学式が挙行されました。九州学院の新たな4月11日(火)、九州学院総合体育館において2023年度九州学院高等学校・中学校入学式が挙行されました。九州学院の新たな

学校長式辞、来賓紹介に続き、在校生を代表して横溝正泰高校生徒会長が新入生に歓迎の言葉を贈りました。その後、新入生代表による誓いの言葉を、中学生は江村明音さんが、高校生は山口史織さんがそれぞれ室永校長の前で述べました。今回の入学式は来場者数の制限を撤廃し、式後に各教室で行われた学活・ホームルームも保護者の教室内参観を従前の方式に戻したことから、入学の喜びと新たな生活への決意を同じ場所で見守ることができました。翌12日(水)、同総合体育館において中高合同の対面式(生徒会主催)が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で総合体育館での全校集会は4年ぶりで、1400人超の生徒と教職員が総合体育館に集うのは2020年1月20日の創立110周年記念講演会以来3年3か月ぶりの機会となりました。室永校長による訓話の後、中高生徒会役員に司会進行が移りました。最初に中高各生徒会長がメンバー紹介を行い、新入生の歓迎と生徒会活動への協力を呼びかけました。続いて対面式に移り、1年生と2・3年生が向き合って対面の挨拶が行われました。1年生がクラスごとに起立・一礼すると、先輩たちからは歓迎の気持ちを含めた大きな拍手が送られました。最後に一同で九州学院校歌を斉唱しました。1年生はこれからオリエンテーションなどで校歌を練習していくこととなりますが、九州学院中学校出身者をはじめ、しっかりと歌えている生徒もいました。2・3年生はこの日から授業が始まり、1年生もこの週内でオリエンテーションなどの諸行事と授業が並行して実施されました。開校113年目を迎えた九州学院の新年度が始まり、主なる神さまの前に謙り祈るなかで導きと励まし、豊かな恵みをいただきながら九州学院での日々の教育活動に丁寧にあたらせていただきます。

競泳日本選手権男子1500m自由形 高校生で唯一の決勝進出者！(5位)

仲光 陸遥 選手(高3)



4月4日(火)～9日(日)、東京アクアティクスセンターにおいて、第99回日本選手権水泳競技大会が開催されました。この大会は年齢制限がなく、全年齢の選手が頂点を競い合うことから、国内最高峰の大会として位置づけられているものです。9日(日)に行われた男子1500m自由形決勝において、仲光陸遥選手(高3)が5位に入賞を果たしました。決勝進出者8人のうち仲光選手は唯一の高校生であり、社会人や大學生の強豪と競つての5位は、快挙といえる大活躍となりました。また、決勝のタイム(15分19秒07)は、令和4年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会同種目優勝時の記録(15分26秒48)を7秒以上更新するとともに、自身が保持する熊本県記録も更新しました。今大会の活躍などもあり、仲光選手は日本水泳連盟からイスラエルのネタニヤで開催される「世界ジュニア水泳2023」に、競泳日本代表選手(男子自由形)として派遣されることとなりました。引き続き皆さまの応援をお願いします。



就任のご挨拶

中高校長 室永 芳久



九学通信をお読みの方々は、はじめまして。2023年度より中学校・高校の校長職を拝命いたしました室永芳久と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2023年度に入り、九州学院は112年目の歩みを始めました。すなわち、112年間に亘る在校生および卒業生、それを支えた関係者の皆さま、関わった教職員が受け渡したバトンが、今、私たちに渡されたということ。その間に培われ受け継がれた九州学院の歴史と伝統をしっかりと継承していくため、微力ながら務めてまいり所存です。さて、三年余りに及ぶコロナ禍を経て、漸く学校生活が活気を取り戻してきました。三密の回避・分散登校、学校行事の中止・制限、部活動や大会の中止・制限などの経験は、生徒さんたちの貴重な人生経験の一部を奪ったと同時に、学校という場の持つ役割について見つめなおす契機となりました。九州学院は、知育・徳育・体育に教育を加え、全人教育を目指しています。すなわち、生徒さんたちに「人」として、体や知識、倫理観とともに「こころ」も成長してほしい」という願いを持っています。つまり、キリスト教の教えに基づき、人の「こころ」を育てることが九州学院の使命であり、そのためには、学校生活における仲間と色々な活動を通じた密な交流が必要なことだということです。この三年間で再確認できたことのように思います。今後とも教科教育はもちろんのこと、様々な学校行事の工夫と実施、活発な部活動の維持など、多面的に取り組んでいきたいと考えています。将来的には、再び未知の感染症の拡大など、不測の事態が起こるかもしれません。しかし九州学院は、建学の理念と112年間の歴史と伝統に立ち、多くの同窓生、在校生ならびに保護者の皆さまに支えられております。今後、どのような事態が起ころうとも、生徒さんたちが学び成長する場としての学校という役割、使命を果たしていきたいと切に願っておりますので、今後ともご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

教職員異動（退任・新任）

【敬称略】

阿部英樹（校長・英語）



坂井宏安（保健体育）



退任

園長 松田正二郎

宗教 安達 均

国語 藤本 尚美

国語 森本 知子

国語 伊禮智香子

地公 香山 祥一

みどり 星山 栄利

みどり 下城 藍利

新任・再任

チアリー 日笠山吉之

園長 新垣 力

国語 山浦 あや

国語 古田 裕幸

国語 長倉 伸子

国語 木村 美織

地公 坂本 真一

数学 井元 愛弓

理科 佐々 剛行

英語 笠原 舞

英語 星下 一真

保体 岩本 いずみ

事務 谷口由希子

1976(昭和51)年
着任。地学を軸に教鞭を執り、丁寧・緻密な教育が高評価を得る。教務部長、高校部長等要職を歴任。長きにわたり中高の運営に奮闘して重責を果たした。

2001(平成13)年
着任。校内整備、諸式典の進行等、多岐にわたる活躍。学院と同窓会の結束強化に奔走。ボクシング部を永年指導(継続中)。心技体の育成に邁進している。

○退任された皆様のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げますとともに、新任の皆様を心より歓迎いたします。

2023年度の進路状況について

進路指導部長 松本 郁

今年度の四年制大学の合格者数は、国公立大31名(うち現役25名:東京(理)、神戸市外国語(英)、国立看護(看)、筑波(体育)、鹿屋体育(体育)、島根(理)、大分(経)、鹿児島(理、医看)、宮崎大(医看)、熊本(教育2、医看2)、熊本県立8〔総管6、文1、環共1〕、過年度卒6名:神戸(工)、大分(理)、熊本(医、工)、長崎(医、歯))、私立大305名(うち現役一般入試50名:桜美林、東京理科、中央、日本、日本体育、帝京、東京医療保健、東海、中京、京都産業、龍谷、大阪経済3、大阪工業、近畿3、摂南2、関西学院、関西、西南学院2、福岡6、福岡工業3、九州看護福祉2、長崎国際、熊本保健科学3、熊本学園9、崇城7、ルーテル学院2、立命館アジア太平洋)、総合型選抜入試20名、公募推薦入試24名、スポーツ推薦入試52名、指定校推薦入試合計116名(うち同志社13、福岡15、熊本学園14)でした。また、短期大学0名。就職内定者7名(公務員4、一般3)、となっています。今春卒業者329名の進路決定状況は、四年制大学78.9%(前年比+0.03%)、短期大学0%、専修・各種学校9.2%(-0.9%)、就職2.1%(-0.3%)、海外進学0.3%(+0.3%)、予備校等(受験準備)4.8%(-2.6%)でした。地域別で見ると、熊本県内への進学者は29.5%(昨年28.5%)、県外進学者のうち関東には25.5%(昨年24.8%)、関西には16.2%(昨年11.6%)、福岡には19.9%(昨年24.5%)が進学しました。コロナ禍という非日常のなかで、最難関である東京大学や慶應大学、また4年連続で医学部医学科に合格するなど、生徒は目標に向け全力でがんばりました。指定校推薦については、今年度は162(昨年は157)もの4年制大学から推薦依頼が寄せられ、同志社大から23名、福岡大から24名、熊本学園大との高大接続特別入試制度により44名の枠をいただきました。進路指導部としては、このような連携関係を大切にするとともに、進路先で充実した学業生活を送れるように、日頃の基礎学力の向上と進路希望に合わせたサポートを強めていきたいと考えています。



書が授与されました。

高校 第75回卒業証書授与式を挙



3月1日(水)、九州学院総合体育館において九州学院高等学校第75回卒業証書授与式が挙

4月7日(金)午前9時より、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて、2023年度より新たにチャレン(学校付教師)、中高校長、こども園園長に就任した教師・教師の就任式(礼拝が厳かに執り行われました。

小副川幸孝院長の司式で進行した式では、長岡立一郎・九州学院前理事長が「賜物を生かす者」と題して説教を行い、神さまから各所に与えられた無二の賜物を生かしていくことの大切さを列席した教職員に説きました。

ブラウン・メモリアル・チャペルで厳かな就任式

新たなチャレン・中高校長・こども園園長が就任

4年ぶりに高校「研修旅行」を実施！

11・2年生が充実した4日間を満喫

3月6日(月)～9日(木)に高校1年生が、同7日(火)～10日(金)に高校2年生が、それぞれ研修旅行を実施しました。新型コロナウイルス感染症流行で、2019年度・2020年度入学生は研修旅行が中止(代替企画のみ実施)となつたことで、今回は実に4年ぶりの研修旅行実施となりました。両学年とも概ね前半が上信越でのスキー研修、後半が関東各地での研修でありました。



4月21日(金)、高1を除く中高各学年は、親睦会を開催しました。中学校は全体での部活動紹介に続き、中1は3号館ホールでの交流親睦会、中2と中3はそれぞれスポーツを通しての親睦会を行いました。高1は阿蘇市内での学年研修を2年ぶりに宿泊を伴う方式で実施しました。2日間わたり、学校生活に関する全体研修やチャレン講話、各クラスの親睦を行い、ルールの理解やよりよい人間関係の構築に励みました。



2022(令和4)年度 事業活動収支計算書

(単位:百万円)

事業活動収入の部		事業活動支出の部		
教育活動収支	学生生徒納付金	778	人件費	903
	手数料	12	経費	417
	寄付金	10	(内、減価償却)	162
	経常費等補助金	494	徴収不能額等	0
	付随事業収入	0		
	雑収入	4		
	教育活動収入計	1,298	教育活動支出計	1,320
教育活動収支差額		▲ 23		
教育活動外収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	受取利息・配当金	0	借入金利息等	4
	その他の教育活動外収入	0	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外収入計	0	教育活動外支出計	4
	教育活動外収支差額		▲ 4	
経常収支差額		▲ 26		
特別収支	事業活動収入の部		事業活動支出の部	
	資産売却差額	0	資産処分差額	0
	その他の特別収入	20	その他の特別支出	0
	特別収入計	20	特別支出計	0
	特別収支差額		20	
基本金組入前当年度収支差額		▲ 6		
基本金組入額合計		▲ 114		
当年度収支差額		▲ 120		
前年度繰越収支差額		▲ 2,052		
基本金取崩額		0		
翌年度繰越収支差額		▲ 2,172		

(参考)

事業活動収入計	1,318
事業活動支出計	1,324

育友会定期総会を開催

「全議案が承認される」

5月26日(金)午後、九州学院育友会定期総会が九州学院プラウン・メモリアル・チャペルで開催されました。今回も対面(会場)での参加・委任・議決権行使から選択可となりました。

吉本副会長の司会で総会は進行し、小副川幸孝院長による聖書朗読と祈禱、緒方博明会長と室永芳久校長の挨拶に続いて議事に入り、新役員・監事の紹介等が行われ、今回の定期総会は終了しました。なお、2年間会長の重責を担われた緒方博明氏は規約に則り、顧問として引き続き執行部議されました。

「朽ちない冠」を指す九州学院第2世紀の象徴に

4月21日(金)、九州学院1号館生徒昇降口付近と4号館(中学校舎)において、創立百周年(2021年)記念事業の一環としての記念植樹と、2021年度末まで約4年間行われた「創立百周年・震災復興特別募金」にご協力いただいた皆さま



を支援していただきます。新年度も引き続きご協力をたまりません。よろしくお願いいたします。
●新役員(熱心部)●
会長 中山 竜一



副会長	吉本 洋
副会長	山本 直美
副会長	佐藤 準一
副会長	乃村 嘉一
書記	小室 絵美
書記	河井 直子
会計	堤 建太
会計	中村奈央美
渉外	杉本 美紀
渉外	古財 良一
監事	原之蘭 浩
監事	井上 真理
顧問	緒方 博明

九州学院みどり幼稚園

子どもたちに学び 認識を新たに

認定こども園九州学院
みどり幼稚園園長 新垣 力

純真無垢な園児たちは、触れ合うたたくさん、人々を笑顔にしてくれ、どんなにつらい時でも子どもたちの表情や何気ない仕草に和まされます。さて、まっさらな子どもたちと過ごしていると、時折、ハツとする瞬間があります。午後から一緒に遊ぶ約束をしたある日、急な都合で遊べなかったことがありました。約束をしたその子は、当然のことながら「いっしょに遊ぶって約束したじゃないか!」と私を厳しい口調で叱責しました。園児たちにとつ



任は重大です。私は、主に中学校で勤務してきました。生徒指導上の課題が発生した際は、当事者の生徒とともに原因を探っていきま。『なぜ?』も5回くらい辿ると確信に近づいていきます。小中学校での教育のあり方は当然ですが、幼児教育、家庭教育の重要性も併せて感じてきました。



第76回卒業証書授与式を挙

「106名が新しい道へ」

3月11日(土)、九州学院プラウン・メモリアル・チャペルにおいて「九州学院中学校第76回卒業証書授与式」が挙行され、106人の卒業生が学び舎を巣立ちました。

当日は在校生からの想いの込められた卒業



メッセーが廊下に並び、卒業式のために飾りつけた教室が卒業生を迎えました。今年度も昨年同様、在校生がいるホールと式が行われているチャペルとを中継で結び、オンラインで在校生も式に列席しました。

式では一人ひとりの名前が各担任から呼ばれ、卒業生全員に卒業証書が手渡されました。卒業生の返事や讃美歌の歌声に3年間の想いが感じられる素晴らしい式となりました。チャペルを後にする際には、卒業生の新しい門出を祝福しているかのよう鐘の音が青空に高らかに鳴り響きました。また、退場後はサプライズがあり、ホールから移動してきた在校生がチャペルの外で卒業生を出迎え、3年生への花道を作りました。在校生はそれぞれが3年生へ向けたメッセーを持ち、自作の大きなプラカード(防弾盾)で3年生の門出を祝いました。

スケート研修を実施しました

「元気に氷上を滑走」

3月13日(月)に、中学1年生(現中学2年生)のスケート研修をアクアドーム熊本で行いました。

初めに、インストラクターの方から基本的な滑り方や転倒した時の立ち上がり方などを教わりました。スケートを初めて行う生徒も多く、転倒することも



中々、何度も挑戦していましたが、またその中で、仲間と教える姿や応援する姿なども

見られ、成長を感じた1日となりました。今回ご協力いただいたアクアドーム熊本の職員の皆様、インストラクターの方々に心から感謝申し上げます。



新入生110名を迎えて新学期がスタート

4月11日(火)に1年生110名を迎え、中学校は323名で新年度をスタートしました。

4月21日(金)には1年生に向けた部活動紹介と各学年の親睦会を実施しました。親睦会ではどの学年も積極的に取り組んでおり、明るい笑顔や楽しそうなお話声が印象的でした。今後も様々な活動を通して学年の親睦を深めてくれればと思います。また、「敬天愛人」「自分で自分を監督し、役に立つ善人になる」という教養を忘れず、それぞれの目標や決意を胸に充実した九中生活

最後の学活の時間を持ちました。クラスではそれぞれが笑顔と感動の入り混じった涙で、温かな時間を過ごしました。なお、保護者の皆さまには廊下やベランダから最後のホームルームをご覧いただきました。皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。

J76回の卒業生の皆さん、保護者の皆さま、卒業生におめでとうございます。9年間の義務教育を終え新しい生活がスタートしていることと思います。皆さんのご健康とご多幸をお祈りいたします。また、記念品として頂戴したステンドグラスは中学校校舎の一階に飾ってあります。学校にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

学友会活動成績
(1月1日～5月7日)

高校

柔道部

第45回全国高等学校柔道選手権大会熊本県大会
(1月14～15日)

〈八代市総合体育館〉

▽男子団体 1位

▽女子団体 2位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

3位 本村 光城(2年)

▽女子個人

▽52kg級 1位 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 1位 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 1位 益田 実夢(2年)

2位 岡岡 真優(2年)

第45回全国高等学校柔道選手権大会(3月20～21日)

〈日本武道館〉

▽男子団体 2回戦敗退

▽男子個人

▽60kg級 初戦敗退 天川 泰典(1年)

▽無差別級 初戦敗退 中居 郁弥(2年)

▽女子個人

▽52kg級 初戦敗退 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 2回戦敗退 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 初戦敗退 岡岡 真優(2年)

第32回全国高等学校剣道選抜大会熊本県予選会
(1月14日)

〈山鹿市総合体育館〉

▽団体 1位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

3位 本村 光城(2年)

▽女子個人

▽52kg級 1位 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 1位 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 1位 益田 実夢(2年)

2位 岡岡 真優(2年)

第45回全国高等学校柔道選手権大会(3月20～21日)

〈日本武道館〉

▽男子団体 2回戦敗退

▽男子個人

▽60kg級 初戦敗退 天川 泰典(1年)

▽無差別級 初戦敗退 中居 郁弥(2年)

▽女子個人

▽52kg級 初戦敗退 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 2回戦敗退 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 初戦敗退 岡岡 真優(2年)

第32回全国高等学校剣道選抜大会熊本県予選会
(1月14日)

〈山鹿市総合体育館〉

▽団体 1位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

▽5000m 1位 水野 夢大(3年)
2位 岩根 正悟(3年)
3位 迫 紘太(3年)
▽ジュニア3000m 3位 門間 蒼大(1年)
▽3000mSSC 2位 佐藤我人(3年)
3位 一ノ瀬来祈(2年)
4位 船越 碧(3年)
6位 松田憲史朗(3年)
▽女子 1位 鳥丸 沙葵(3年)
2位 後藤 ゆら(3年)
3位 角 百々花(1年)
4位 角 百々花(1年)
▽4×100mR 4位 野村・鳥丸・小山・吉村
▽400mH 3位 鳥丸 沙葵(3年)
▽100mYH 4位 角 百々花(1年)
▽4×100mR 4位 野村・鳥丸・小山・吉村
▽400mH 3位 鳥丸 沙葵(3年)
▽4×400mR 4位 吉村・鳥丸・松岡・坂井
▽57回織田幹雄記念国際陸上競技大会(4月29日)
〈広島広域公園陸上競技場〉
▽西日本ジュニア5000m 7位 水野 夢大(3年)
第33回熊本県私立学校陸上競技大会(4月29日)
〈えがお健康スタジアム〉

本県予選(4月16日)
〈東海大学付属熊本星翔高校〉
1位
第77回九州四県対抗バスケットボール選手権大会(4月23日)
〈山鹿市カルチャースポーツセンター〉
2位

▽200m個人メドレー 3位 米田 裕(2年)
7位 吉永 新汰(2年)
▽400m個人メドレー 3位 米田 裕(2年)
5位 吉永 新汰(2年)
▽女子 1位 鳥丸 沙葵(3年)
2位 樋口愛実華(2年)
4位 角 百々花(1年)
▽4×100mR 4位 野村・鳥丸・坂井・松岡
第34回コーレンゲームズinのへおか(5月4日)
〈延岡市西階陸上競技場〉
▽男子5000m1組 2位 水野 夢大(3年)
第36回熊本県高等学校一年生弓道大会(1月28日)
〈熊本市植木弓道場〉
▽女子個人 2位 浅井 理央(1年)
第70回優勝弓争奪近県弓道大会(3月19日)
〈大牟田市市民体育館〉
▽男子個人 4位 金子 愛世(2年)
4位 古財 啓裕(2年)
▽女子個人 6位 田原 和奏(2年)
第15回八代市杯弓道大会(3月21日)
〈八代市弓道場〉
▽男子団体 2位 竹原、齊木、古財
3位 森本、金子、内田
第5回熊本市内高校生弓道大会(5月3日)
〈熊本市植木弓道場〉
▽男子団体 2位
▽男子個人 2位 森本 恵生(3年)
3位 金子 愛世(3年)

空手道部
熊本県高等学校1・2年生空手道大会(1月29日)
〈菊池市総合体育館〉
▽1年生男子個人形 1位 東坂 柊哉(1年)
▽2年生男子個人形 1位 松川 怜雅(2年)
▽1年生男子個人組手 1位 東坂 柊哉(1年)
▽2年生男子個人組手 1位 荒木 颯太(1年)
▽2年生女子個人組手 3位 井上 小春(2年)
第42回全国高等学校空手道選抜大会(3月23～25日)
〈福岡市総合体育館〉
▽男子個人形 ベスト16 松川 怜雅(2年)
第46回熊本県空手道個人選抜選手権大会(4月29日)
〈玉東町民体育館〉
▽少年男子形 2位 松川 怜雅(3年)
▽少年女子形 1位 野中 紗和(3年)
3位 山尾 彩菜(3年)

熊本県大会(4月30日)
〈熊本県民総合運動公園野球場〉
3位

▽個人1年の部 1位 中司 健太(1年)
▽個人3年の部 1位 石橋 智紀(3年)

柔道部

県下中学校柔道団体優勝大会(2月19日)
〈山鹿市総合体育館〉
▽男子団体 1位
▽女子団体 1位
▽男子個人 3位 村木 緒方、井上
▽女子個人 1位 山岡 大悟(2年)
4位 富永 雄矢(1年)
5位 河田 怜久(2年)
▽男子個人 1位 柏原 真理(1年)
4位 富永 雄矢(1年)
5位 河田 怜久(2年)
▽女子個人 1位 山岡 大悟(2年)
4位 富永 雄矢(1年)
5位 河田 怜久(2年)

弓道部

第15回八代市杯弓道大会(3月21日)
〈八代市弓道場〉
▽男子団体 1位 井上、西上、安部
▽女子団体 3位 村木 緒方、井上
▽男子個人 1位 山岡 大悟(2年)
4位 富永 雄矢(1年)
5位 河田 怜久(2年)
▽女子個人 1位 柏原 真理(1年)
4位 富永 雄矢(1年)
5位 河田 怜久(2年)

第45回全国高等学校柔道選手権大会熊本県大会
(1月14～15日)

〈八代市総合体育館〉

▽男子団体 1位

▽女子団体 2位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

3位 本村 光城(2年)

▽女子個人

▽52kg級 1位 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 1位 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 1位 益田 実夢(2年)

2位 岡岡 真優(2年)

第45回全国高等学校柔道選手権大会(3月20～21日)

〈日本武道館〉

▽男子団体 2回戦敗退

▽男子個人

▽60kg級 初戦敗退 天川 泰典(1年)

▽無差別級 初戦敗退 中居 郁弥(2年)

▽女子個人

▽52kg級 初戦敗退 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 2回戦敗退 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 初戦敗退 岡岡 真優(2年)

第32回全国高等学校剣道選抜大会熊本県予選会
(1月14日)

〈山鹿市総合体育館〉

▽団体 1位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

3位 本村 光城(2年)

▽女子個人

▽52kg級 初戦敗退 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 2回戦敗退 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 初戦敗退 岡岡 真優(2年)

第32回全国高等学校剣道選抜大会熊本県予選会
(1月14日)

〈山鹿市総合体育館〉

▽団体 1位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽81kg級 2位 村上 希龍(1年)

3位 坂田 有杜(1年)

▽無差別級 1位 中居 郁弥(2年)

2位 赤星 勇斗(2年)

3位 本村 光城(2年)

▽女子個人

▽52kg級 初戦敗退 吉永 碧衣(1年)

▽63kg級 2回戦敗退 八石 羽菜(1年)

▽無差別級 初戦敗退 岡岡 真優(2年)

第32回全国高等学校剣道選抜大会熊本県予選会
(1月14日)

〈山鹿市総合体育館〉

▽団体 1位

▽男子個人

▽60kg級 1位 天川 泰典(1年)

▽73kg級 2位 光田 拓磨(2年)

3位 村山 永遠(2年)

▽個人1年の部 1位 中司 健太(1年)
▽個人3年の部 1位 石橋 智紀(3年)